
令和2年度（2020年度）活動報告書

このたび、令和2年度（2020年度）の熊本県博物館ネットワークセンターの活動報告書を取りまとめましたので、御覧いただければ幸いです。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に係る緊急事態宣言の発令、令和2年7月豪雨と、大きな災害の続いた一年でした。被害にあわれたすべての方々にお見舞い申し上げますとともに、一日も早く日常の生活が戻りますことをお祈りいたします。

さて、熊本県博物館ネットワークセンターは、平成27年4月の設置以来、県内博物館等との連携を軸として、「いつでも・どこでも・だれでも」博物館活動に親しんでもらえるよう、共同企画展の開催、収蔵資料の情報共有化を図るための「熊本県博物館資料データベース」の運用・公開など、熊本県総合博物館ネットワーク構想を推進してきました。また、企画展・移動展の開催、講座やフィールドミュージアムの実施、ミュージアムパートナーズクラブへの支援など、県民の方々が熊本の歴史や自然を体感できる取り組みを進めてきました。昨年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、休館やさまざまな活動の制限を余儀なくされましたが、コロナ禍においても博物館を身近に感じることができるよう、熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイトの改修を行い、ポータルサイト内に「熊本どこでもミュージアム」を立ち上げました。今後、県内博物館等と連携して、動画を活用した博物館紹介、自宅で行える学習プログラムの紹介などを充実させていきたいと考えております。

これからも、県内博物館の活性化と、県民の皆様がいつでも・どこでも・だれでも博物館活動に参加できる環境づくりに取り組んでまいりたいと考えておりますので、御支援、御協力をいただきますようお願い申し上げます。

令和3年（2021年）5月6日
熊本県博物館ネットワークセンター
所長 金丸 政治

目 次

1 展示活動

- (1) 企画展示 1
- (2) 移動展示 10
- (3) 県市連携展示「熊本のいきものたち」 11
- (4) 熊本県博物館ネットワークセンター阿蘇展示室 14

2 情報発信活動

- (1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト 15
- (2) 熊本どこでもミュージアム 15
- (3) 出版物 16

3 研修活動

- (1) 総合プロデューサー育成研修 18
- (2) スキルアップ研修 18
- (3) 教員のための博物館の日 18

4 学習支援活動

- (1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 19
- (2) 熊本を知る講座 20
- (3) くまもとキッズミュージアム in 人吉 21
- (4) 移動体験教室・講師派遣 21
- (5) 団体利用 22
- (6) 博物館実習・職場体験 22
- (7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度 22
- (8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ 22
- (9) 学校移動展示用パッケージ運用 24

5 資料収集整理活動

- (1) 熊本県博物館資料データベース事業 25
- (2) 熊本県学芸員等人材データベース事業 25
- (3) 資料収集・整理状況 26

6 資料

- (1) 令和2年度（2020年度）職員一覧 31
- (2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例 32
- (3) 施設平面図 35
- (4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス 36

1 展示活動

(1) 企画展示

① 松橋地域に残る古文書の世界

開催期間 令和2年(2020年)5月12日(火)～令和2年(2020年)7月19日(日)

協力 宇城市教育委員会、熊本県立図書館、崇城大学図書館

観覧者数 186人

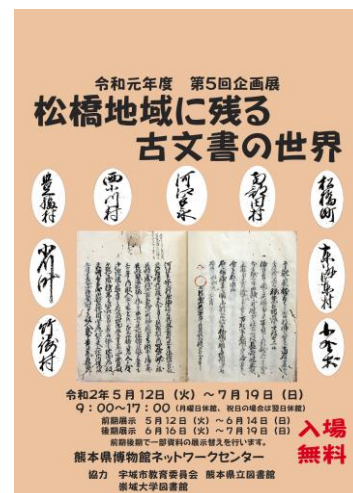
展示点数 71点

担当 中村圭子、堤将太、古澤広大

(展示趣旨)

平成28年(2016)4月に起こった熊本地震では、個人が所有する未指定文化財も大きく被害を受け、文化財救援活動(文化財レスキュー活動)が行われた。この活動により、多くの未指定文化財が救出され、松橋・小川地域においても地域の歴史を知ることができる貴重な資料の発見があった。

本展示では、新たに発見された「宇城市小田家資料」や「宇城市本田家資料」を中心に、河江手永とそこに所属した村々に残された古文書を通して、松橋・小川地域の歴史を紹介し、地域に残る古文書を守る意義について考えることを目的とした。



(展示構成と主な展示資料)

(ア) 熊本藩と地域

熊本藩の歴史を紹介するとともに、藩が町や在村に出したお達などから熊本で行われた地域運営の取り組みを紹介。

(主な展示資料)

妙解君遣事 全、[斉茲公事蹟 写]、諦観公遣事 [写]、御郡方記録 [写]、在中江常々可申諭条々 [写]、御百姓共御法度筋稜書 [写]、在中商売物の儀につき御書付写、御免方取締巻 [写]



(イ) 河江手永と会所

江戸時代から明治時代初期において現在の宇城市松橋町・小川町の範囲を管轄していた河江手永の組織や業務などと、宇城市小田家資料の河江旧記抜書について紹介。

(主な展示資料)

[肥後村附 写]、下益城郡河江手永御給知高段別帳、手鑑、河江手永諸役人給米帳、雑記、税法彙略(パネル)、肥後国海岸国中絵図(パネル)、肥後国飽田・宇土・下益城海岸図(パネル)、河江旧記抜書、[類寄頭書目録]



(ウ) 地域に残る古文書

宇城市教育委員会や当センター所蔵資料などから、松橋地域と小川地域に関する古文書を紹介。

(主な展示資料)

秋岡吉左衛門覚書、見図帳下地、秋岡吉左衛門彦之丞覚書、下益城竹崎村河江手永再地引合地推帳、肥後藩神奈川警備覚書、



諸請書、鉄砲代仕向通、諸道具御根帳、河官旧記録、[本田俊介履歴]、御年貢方万控、肥後国河江手永絵図（パネル）、肥後国南海辺新田図（パネル）

関連企画

(1) 資料集「河江旧記（抜書）解説」の発行

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

(2) 講演会

「地域行政アーカイブと日本近世史研究—小田家文書「河江旧記」の画期性—」

※大雨洪水警報発令のため中止

《実施計画》

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

開催期日 令和2年（2020年）7月11日（土）

講 師 今村直樹 氏（熊本大学永青文庫研究センター准教授）

申込人数 21人

② 「レッドデータブックくまもと2019」の動物たち

開催期間 令和2年（2020年）7月28日（火）～令和2年（2020年）10月11日（日）

観覧者数 331人

展示種数 301種

担 当 金子誉士、中藺洋行

（展示趣旨）

開発や外来種の侵入、乱獲などにより、絶滅が心配されている生物たちについて取りまとめた本がレッドデータブックである。2019年、10年ぶりに熊本県のレッドデータブックが改訂された。この本に掲載されている貴重な動物たちを当センターの標本を用いて紹介することで、野生動物や生物多様性への理解を深め、自然環境保全への取組がさらに進むことを目的とした。

（展示構成と主な展示資料）

(ア) 魚類

レッドデータブックくまもと2019に記載されている魚類を標本や写真で紹介。

（主な展示資料）

アカザ、ニッポンバラタナゴ、アリアケヒメシラウオなどの標本、写真。19種

(イ) 両生類・爬虫類

レッドデータブックくまもと2019に記載されている両生類、爬虫類を標本や写真で紹介。

（主な展示資料）

ブチサンショウウオ、ニホンヒキガエル、ニホンイシガメなどの標本、写真。

両生類14種、爬虫類3種

(ウ) 鳥類

レッドデータブックくまもと2019に記載されている鳥類を標本や写真で紹介。



(主な展示資料)

ヨタカ、クロツラヘラサギ、オオコノハズクなどの標本、写真。50 種

(エ) 哺乳類

レッドデータブックくまもと 2019 に記載されている哺乳類を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

ニホンカモシカ、ムササビ、ヤマネなどの標本や写真。14 種

(オ) 貝類

レッドデータブックくまもと 2019 に記載されている貝類を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

イシカワギセル、キュウシュウササノハガイ、オオウスビロウドマイマイなどの標本や写真。27 種

(カ) 甲殻類

レッドデータブックくまもと 2019 に記載されている甲殻類を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

サイゴクコツブムシ、ビワカマカヨコエビ、ヤマトヌマエビなどの標本や写真。5 種

(キ) クモ・多足類

レッドデータブックくまもと 2019 に記載されているクモ・多足類を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

イツキメナシナミハグモ、ヒゴキムラグモ、オカツクシヤスデなどの標本や写真。16 種

(ク) 昆虫類

レッドデータブックくまもと 2019 に記載されている昆虫類を標本や写真で紹介。

(主な展示資料)

タガメ、ツヤマグソコガネ、ヒコサンセスジゲンゴロウ、オオルリシジミなどの標本や写真。138 種

(ケ) 環境省作成のレッドリストとの違い

環境省作成のレッドリストとの違いについて説明。

(主な展示資料)

イチモンジタナゴ、マルタニシ、エサキアメンボなどの標本や写真。15 種



関連企画

展示解説

会 場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和2年(2020年)9月13日(日)

参加人数 5人

担 当 金子誉士、中藺洋行

③ わらといのり ～民俗写真家の眼差し 白石巖写真展Ⅳ～

開催期間 令和2年(2020年)9月8日(火)

～令和2年(2020年)10月11日(日)

観覧者数 178人

展示点数 33点

担 当 原田信敬、國本信夫、迫田久美子

(展示趣旨)

当センターが収蔵する白石巖氏の民俗写真の中から、人々の祈りを形にしてきた藁の祭祀具にスポットを当て、藁製の道具や飾りの写真を紹介した。



(展示構成と主な展示資料)

タイトル	撮影地	撮影年	登録番号	元メディア
上梅木の水神祭の供物入れ	上益城郡御船町滝尾	昭和52年(1977)	PF81-000471	35mmカラーポジ
白木の七夕綱	葦北郡芦北町	昭和47年(1972)	PF81-000617	35mmカラーポジ
高浜のサワギ	天草市天草町	昭和50年(1975)	PF81-000681	35mmカラーポジ
阿蘇神社拝殿の注連縄	阿蘇市一の宮町	昭和59年(1984)	PF51-015743	35mmモノクロネガ
熊野初取神社の注連縄	熊本市北区植木町小野	昭和49年(1974)	PF51-011621	35mmモノクロネガ
登立菅原神社鳥居の注連縄	上天草市大矢野町	昭和53年(1978)	PF51-013814	35mmモノクロネガ
玄関の注連飾り	熊本市中央区	昭和50年(1975)	PF81-003871	35mmモノクロネガ
玄関の注連飾り	球磨郡山江村	昭和59年(1984)	PF81-005997	35mmモノクロネガ
広住年神社のニクサビ	熊本市北区植木町	昭和47年(1972)	PF81-003074	35mmモノクロネガ
龍田町弓削の倉飾り	熊本市東区龍田町	昭和57年(1982)	PF81-005669	35mmモノクロネガ
木部の大蛇が綱	熊本市南区御幸木部	昭和44年(1969)	PF81-002122	35mmモノクロネガ
久鹿の十五夜綱引きの綱と足半	球磨郡あさぎり町免田	昭和50年(1975)	PF81-004220	35mmモノクロネガ
中浦のウシガエのわら牛	天草市久玉町	昭和51年(1976)	PF81-000755	35mmカラーポジ
前川のウマツクリのわら馬	菊池市七城町	昭和52年(1977)	PF81-005289	35mmモノクロネガ
阿佐古のカセドリの注連縄	山鹿市菊鹿町	昭和51年(1976)	PF81-004369	35mmモノクロネガ
小谷のカセドリウチの福俵	上益城郡益城町	昭和59年(1984)	PF81-005915	35mmモノクロネガ
足手荒神に奉納されたわらじ	上益城郡嘉島町下六嘉	昭和52年(1977)	PF51-013791	35mmモノクロネガ
浜田綿津見神社のわら皿	玉名市岱明町	昭和51年(1976)	PF51-013063	35mmモノクロネガ
山尻のカワマツリの供え物	熊本市東区弓削町	昭和58年(1983)	PF81-000367	35mmカラーポジ
八反田のカワマツリの供え物	熊本市東区	昭和50年(1975)	PF81-004036	35mmモノクロネガ
辺場のカワマツリの供え物	上益城郡甲佐町	昭和52年(1977)	PF81-005106	35mmモノクロネガ

分田の精霊舟	山鹿市鹿本町	昭和51年（1976）	PF81-000053	35mmカラーポジ
精霊市	熊本市中央区	昭和42年（1967）	PF81-001479	35mmモノクロネガ
山鹿の精霊舟	山鹿市	昭和46年（1971）	PF81-002800	35mmモノクロネガ
岩本の巻天神	菊池市旭志弁利	平成元年（1989）	PF53-000014	35mmカラーポジ
森巻天神	菊池郡大津町上大津	昭和59年（1984）	PF53-004426	35mmモノクロネガ
川内の大綱巻き天神	上益城郡山鹿町川野	昭和50年（1975）	PF53-003242	35mmモノクロネガ
合戦ノ峰の天子さん	球磨郡山江村山田	昭和58年（1983）	PF53-004245	35mmモノクロネガ
オホシサンのオカリヤ	上益城郡益城町田原	昭和47年（1972）	PF51-008586	35mmモノクロネガ
釜尾のセットウダワラ	熊本市北区釜尾町	昭和50年（1975）	PF51-012528	35mmモノクロネガ
山下の神さんの鉢巻き	熊本市西区中島町	昭和48年（1973）	PF51-011119	35mmモノクロネガ
六殿宮大祭の神馬の注連縄	熊本市南区富合町木原	昭和47年（1972）	PF51-008165	35mmモノクロネガ
節頭の輪くぐり	玉名市伊倉北方	昭和49年（1974）	PF51-000014	35mmカラーポジ

④ 知ってる!?知らない!?鉱物のいろいろ!!

開催期間 令和2年（2020年）10月20日（火）～令和2年（2020年）12月27日（日）

観覧者数 458人

展示点数 264点

担当 上塚穰二、廣田志乃

（展示趣旨）

鉱物は、宝飾品や工業製品の原料として使われることもあり、私たちの身近なところで活用されている。ここでは、熊本の鉱物である「鱗珪石（りんけいせき）」や、当センター収蔵の鉱物標本によって鉱物の種類や形、鉱物のできる場所やでき方、鉱物の特徴的な性質などの基本的な事柄について紹介。また、紫外線ライト（UVライト）による蛍光や磁性など鉱物の物理的な性質を、体験コーナーで紹介。



（展示構成と主な展示資料）

（ア）県の花・造岩鉱物いろいろ!!

鉱物についての大まかな解説をし、熊本を代表する鉱物（県の花）と造岩鉱物を紹介する。

（主な展示資料）

県の花（鉱物）・・・鱗珪石

造岩鉱物の展示、解説・・・石英、長石、輝石類、普通角閃石、黒雲母、カンラン石など



（イ）鉱物のできる場所いろいろ!!

鉱物のできる場所や含まれる岩石（帯）について解説し、多様な環境下でできる鉱物、でき方などを紹介。

鉱物のできる主な場所（岩帯や鉱床）

- ① 火山（噴気孔や溶岩） ② 温泉・湖水（沈殿物）
- ③ 熱水の通り道 ④ 深成岩やペグマタイトの中
- ⑤ 深成岩の周辺 ⑥ プレーートの沈み込み帯



- ⑦ 上部マントル ⑧ 海底火山の噴気孔 ⑨ 海底 ⑩ 流水による掃き寄せ
- ⑪ 地表面の風化が著しい場所 ⑫ 乾燥地帯（海や湖の水が蒸発）
- ⑬ 土砂が堆積する場所

（主な展示資料）

鉄電気石、チタン鉄鉱、コランダム、褐簾石、硬石膏、重晶石、自然金、黄銅鉱、黄鉄鉱、錫石、カオリナイト、硫黄、閃亜鉛鉱、斧石、滑石、孔雀石、藍銅鉱、岩塩、石膏、琥珀、藍鉄鉱、黒鉄鉱、層状含銅硫化鉄鉱床など

（ウ）鉱物の形いろいろ!!

鉱物は、理想的な結晶の形を基に、大きく 7 つのグループ（晶系）に分けられる。また、同じ種類の鉱物が集まる場合、独特な形を作ることがある。ここでは、鉱物の形について、本来の形をした鉱物と何か他のものに見えるような面白い形の鉱物を紹介。

（主な展示資料）

晶系（結晶系）とは？…黄鉄鉱、黄銅鉱、重晶石、カンラン石、石英、石膏、斧石など

何かに似ている？鉱物の形…方解石（様々な形）、十字石、桜石、そろばん玉石、しのぶ石、焼餅石、鉄の薔薇、饅頭石、長者だごなど



（エ）鉱物のグループいろいろ!!

同じ構造を持ち、同じような化学式で表される鉱物どうしのグループを紹介。また、同じ鉱物でも見た目で別の呼び方をされている鉱物として、石英を紹介。石英の同質異像の鉱物も紹介。

（主な展示資料）

柘榴石グループ、沸石グループ、輝石グループおよび輝石類縁の鉱物、角閃石グループ
石英のなかま…草入り水晶、瑪瑙、碧玉、鱗珪石、高温石英、クリストバル石など

（オ）宝石になる鉱物いろいろ!!

宝石として用いられることの多い鉱物や、宝飾品として利用されることの多い鉱物の原石を紹介。

（主な展示資料）

ダイヤモンド（金剛石）、ルビー（紅玉）、サファイヤ（青玉）、エメラルド（翠玉）、トパーズ（黄玉）、ジルコン（風信子石）、アクアマリン（藍玉）、キャッツアイ、トルマリン（電気石）、ガーネット（柘榴石）、ペリドット（橄欖石）、ヒスイ（翡翠）、オパール（蛋白石）など

（カ）鉱物のお話いろいろ!!

鉱物にまつわる雑学を紹介。（宮澤賢治と鉱物、古代の窓、硬玉と軟玉、天然の磁石など）

（主な展示資料）

アマゾナイト、イリドスミン、透石膏、ヒスイ輝石、軟玉など
天然の磁石（ハズオン）…磁鉄鉱



（キ）見て楽しむ鉱物いろいろ!!

鉱物の色、複屈折、ファイバースコープ効果、蛍光など、一目でわかるような物理的特徴を紹介。

（主な展示資料）

多色性…紅柱石、堇青石
複屈折…方解石

ファイバースコープ効果・・・テレビ石

蛍光鉱物（暗室でブラックライトを使用）・・・蛍石、珪亜鉛鉱、方解石など

(ク) 熊本県の鉱物いろいろ!!

熊本県内には、多様な岩石の種類に対応して、多くの種類の鉱物が存在する。ここでは、当センター所蔵の熊本県で採取した鉱物標本を紹介。

(主な展示資料)

県北（荒尾・玉名・山鹿・菊池・阿蘇地域）

・・・硫黄、バラ輝石、普通輝石、普通角閃石など

県央（熊本・上益城・下益城・宇城・宇土地域）

・・・柘榴石、コランダム、緑閃石、方解石など

県南（天草・八代・水俣・人吉・球磨地域）

・・・石炭、陶石、鉄電気石、水晶、ヒスイ輝石など



関連企画

(1) 展示解説

会場 熊本県博物館ネットワークセンター 展示室

開催期日 令和2年（2020年）10月25日（日）

（2回に分けて開催）

参加人数 19人（第1回 10人、第2回 9人）

担当 上塚穰二、廣田志乃



(2) 鉱物で遊ぼう

会場 熊本県博物館ネットワークセンター 学習ルーム

開催期日 令和2年（2020年）11月22日（日）

（3回に分けて開催）

参加人数 22人（第1回8人、第2回9人、第3回5人）

担当 上塚穰二、廣田志乃



⑤ ちょっと昔の暮らし探検XI

開催期間 令和3年（2021年）1月11日（月）

～令和3年（2021年）3月21日（日）

※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、1月19日（火）～2月17日（水）は一時休止し、開催期間を当初の予定より1週間延長。

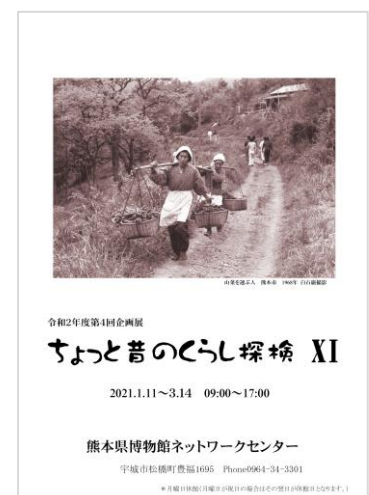
観覧者数 281人

展示点数 112点

担当 原田信敬、國本信夫、迫田久美子

(展示趣旨)

昭和30年代後半から40年代にかけて、高度経済成長の下、機械化、電化、



石油を中心とした化学製品の普及により日々の暮らしは激変した。これほどの日々の暮らしの急変は日本人がこれまで経験したことがないものであった。かつては普通に使われていた暮らしや仕事の道具の中から、小学校3・4年生社会科で取り上げられる「古くから残る暮らしにかかわる道具、それらを使っていたころの暮らしの様子」の単元に対応した道具を中心に紹介し、さらに今年度は、さまざまな“はこぶ”道具を通して、運ぶための道具を展示するコーナーを設け、暮らしの変化を実感することを目指した。

(展示構成と主な展示資料)

(7) 台所今昔

水道、家電製品、ガス製品の普及で台所の様子は一変した。今では簡単にできることでも昔は大変な労力が必要だった。ご飯を炊くにも火をおこし、火加減を見ながら炊かなければならなかった。そんな時代の食生活に関わる道具と使い方を紹介。

(主な展示資料)

羽釜、火吹き竹、電気釜、飯びつ、箱膳、ちゃぶ台、豆腐箱、石臼



(イ) より明るく、暖かく

オール電化の住宅では日常で炎を見ることは稀であろう。そうでもなくてもスイッチ一つで明るくなり、温度が調節できるのは当たり前である。しかし、昔は部屋を明るくするにも暖かくするにも火を燃やさなければならなかった。そんな時代の明かりと暖房の器具を紹介。

(主な展示資料)

燭台、行灯、提灯、火鉢、こたつ、湯たんぽ、電気行火



(ウ) 洗濯と裁縫

今は水道の蛇口を開けば水が出るのは当たり前であるが、水道が普及する以前の水仕事は大変であった。井戸で水を汲み、たらいで洗濯をした時代の洗濯と衣類に関する道具を紹介。

(主な展示資料)

井戸の滑車、洗濯機、炭火アイロン、足踏みミシン、縮台、仕事着、ドンザ



(エ) 田畑で働く

昭和30年代後半から農業の機械化が進められ、農機具も激変した。弥生時代に稲作道具が伝えられて以来、工夫を重ねられ、改良されてきた機械化以前の農機具を紹介。

(主な展示資料)

鍬、犁、田下駄、田植綱、雁爪、千歯扱き、足踏み脱穀機、箕、唐箕



(オ) 運ぶ

現在は物を運ぶために機械を使うことが多いが、かつては人の力だけで運ぶことが多かった。かつて物を運ぶために使われていた、さまざまな“はこぶ”道具を中心に紹介。



(主な展示資料)

トランク、腰籠、背負籠、背負梯子、天秤棒、モッコ、フゴ、担
股

(特記事項)

学校団体見学 2校

見学時には展示説明のほか、体験学習として天秤棒による水運び、
洗濯板による洗濯、火熨斗によるアイロンがけなどを実施。



⑥ 海辺の植物

開催期間 令和3年(2021年)3月30日(火)～令和3年(2021年)5月30日(日)

展示点数 標本37点

担 当 金重雅彦、前田哲弥

(展示趣旨)

陸上植物にとって、海岸は生育に厳しい環境である。そのような環境に生育する海岸性の植物は、厳しい環境を生き抜くさまざまな形や機能をそなえている。これらの植物の形や機能、そして生き方を紹介することで、海岸性の植物、そして海岸という特殊な環境への興味関心を引き出し、熊本県の自然への理解と愛着を深めることを目的とする。

(展示構成と主な展示資料)

(ア) 海岸と植物について

海岸の環境としての特徴と植物の生育との関係、分布の一般的な知識を解説する。



(イ) 海岸環境と生育する植物について

海岸環境を大きく、「岩場」、「砂や小石の浜」、「塩生湿地」に分け、それぞれに生育する植物を紹介する。また、海岸に近い場所に形成される「海岸近くの森林」についても紹介する。

(主な展示資料：岩場)

ハマエノコロ、イソヤマテンツキ、ツメレンゲ、ハマナデシコ、ハマボスなど

(主な展示資料：砂や小石の浜)

ケカモノハシ、コウボウムギ、コウボウシバ、ハマエンドウ、ハマナタマメなど

(主な展示資料：塩生湿地)

ヨシ、シオクグ、ハマナツメ、ハマボウ、ハマサジなど

(主な展示資料、海岸近くの森林)

オニヤブソテツ、オオバグミ、ウバメガシ、マサキ、トベラなど



(ウ) 熊本県の海岸について

県内の海岸の特徴や状況について説明し、「レッドデータブックくまもと 2019-熊本県の絶滅のおそれのある野生動植物」の VII 群落篇で選定されている群落の一部を写真で紹介した。

(主な展示写真)

不知火町の塩生植物群落、緑川河口の水湿生植物群落、高浜白鶴浜のコウボウムギ群落、羊角湾の塩生湿地群落など



(2) 移動展示

① 第2回荒牧英男写真展

阿蘇かみしきみの学び舎～学校をつくったみんなの想い～

会 場 阿蘇フォークスクール

開催期間 令和2年(2020年)11月1日(日)
～令和3年(2021年)9月30日(木)

共 催 荒牧英男写真展実行委員会

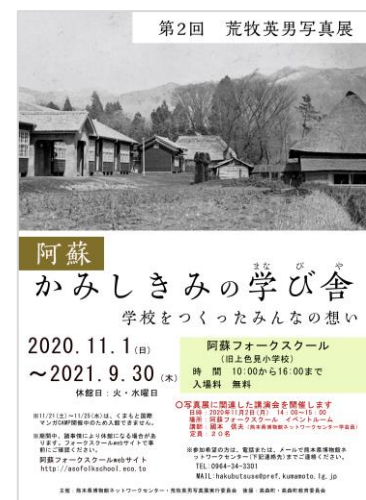
後 援 高森町、高森町教育委員会

観覧者数 50人(ノートに記載のあった人数)
(令和3年3月31日現在)

展示点数 57点

展示概要 高森町上色見で写真を撮り続けた故荒牧英男氏の写真の中から、阿蘇フォークスクール(旧上色見小学校)の建物が建てられた当時の様子を撮影した写真を展示。

担 当 原田信敬、國本信夫、迫田久美子



関連企画

講演会「荒牧英男写真展によせて」

会 場 阿蘇フォークスクール

開催期日 令和2年(2020年)11月2日(月)

講 師 國本信夫

参加人数 23人



② 昔のお金と今のお金

会 場 長洲町 金魚の館

開催期間 令和2年(2020年)12月21日(月)
～令和3年(2021年)1月31日(日)

後 援 長洲町

観覧者数 8,656人

展示点数 123点

展示概要 古代から現代にかけてのお金の変遷を通して、お金と社会・経済の変化について紹介。各種貨幣を実物・写真で展示。

担 当 中村圭子、堤将太、古澤広大



(3) 県市連携展示「熊本のいきものたち」

「熊本県博物館ネットワークセンター」67万点のコレクションの中から、生物分類ごとに選定された実物標本を用いて、熊本の自然環境と生物の多様性、生態系の豊かさを知る展示を行う。さまざまな生物の実物標本をできるだけ多く展示することで、実物に接する大切さを伝え、標本を見て観察することを通して、自然科学への興味の扉を開くきっかけとする。また、自然探究への興味・関心を高め、フィールドへと誘うことを目指す。

① 展示場所及び面積

展示場所：熊本博物館 2F 常設展示室

展示面積：286.75 m²

② 展示資料

区 分	展示資料種数	展示資料例
動 物	哺乳類	39 種 カモシカ、スナメリ、ニホンモモンガ
	鳥類	57 種 クロツラヘラサギ、ヤマドリ、ホオアカ
	爬虫類	16 種 アカウミガメ、ニホンマムシ、ニホントカゲ
	両生類	16 種 カスミサンショウウオ、トノサマガエル
	魚類	47 種 アリアケギバチ、ムツゴロウ、ウツボ
	昆虫類	425 種 オオルリシジミ、ダイコクコガネ、サツマゴキブリ
	貝類	246 種 タイラギ、イシカワギセル、マツカサガイ

	その他	31 種	ハクセンシオマネキ、クルマエビ、ヒゴキムラゲモ
植 物	維管束植物	63 種	スダジイ、ツクシネコノメソウ、ハナシノブ
	菌類	15 種	ツエタケ、キニガイグチ、タマアセタケ
	藻類	19 種	オキチモズク、クロメ、マクサ、ムカデノリ
合 計		974 種	

○ 哺乳類



○ 魚類



○ 昆虫類



○ 貝類



○ 維管束植物・藻類



○ 菌類



③ 県民活動紹介コーナー

県民の自然に親しむ活動を紹介するコーナーを設置。県民全体で自然や文化に親しむきっかけとなるように、ミュージアムパートナーズクラブの活動成果等を展示している。

○ 貝類調べ隊 令和2年9月～



○ くまもと大地の成り立ち 令和3年3月～



④ フィールドへの誘い

熊本県を大きな博物館（フィールドミュージアム）として、県内各地域で観察される動植物や地質について紹介し、県民の自然に対する興味関心を引き出す。

○ 南阿蘇村 令和2年6月～



○ 五木村 令和2年9月～



○ 苓北町 令和2年12月～



○ 荒尾干潟 令和3年3月～



(4) 博物館ネットワークセンター阿蘇展示室

平成31年3月17日(日)、阿蘇火山博物館2階に開設。当センター所蔵の資料を用いて、阿蘇を中心に熊本の自然や文化についての展示を行う。

① 熊本県内のいろいろな化石や岩石

展示点数 33点

展示概要 化石、岩石、石材の3つのコーナーに実物標本及びパネルを展示し、熊本の地質について伝える。化石コーナーでは、熊本の代表的な化石を時代ごとに展示、岩石コーナーでは、熊本の代表的な岩石を、堆積岩、火成岩、変成岩に分類して展示、石材コーナーでは、熊本の代表的な石材を展示。

担 当 上塚穰二、廣田志乃

② 阿蘇の稲作と農耕祭事

開催期間 令和元年(2019年)12月5日(木)～令和2年(2020年)7月14日(火)

展示点数 31点

展示概要 阿蘇神社を中心に四季を通じて執り行われる一連の阿蘇の農耕祭事を写真で紹介し、また、それぞれが執り行われる時期に行われる農作業の写真とそこで使用されていた農具を紹介。

担 当 國本信夫、迫田久美子



③ 甲斐有雄と石道標

開催期間 令和2年(2020年)7月15日(水)～令和2年(2020年)12月15日(火)

展示点数 13点

展示概要 高森町出身で熊本県近代文化功労者である甲斐有雄と、その道標建設の業績について、人物像や道標をパネルで紹介し、道標建設に関する資料を展示。

担 当 中村圭子、堤将太、古澤広大



④ 阿蘇の水辺の生き物たち

開催期間 令和2年(2020年)12月16日(水)～令和3年(2021年)6月中旬

展示点数 99点

展示概要 阿蘇は、6本の1級河川の源と、多くの湧水地を有し、豊富な水を誇る。ここには、チクシブチサンショウウオやタガメなど、貴重な動物たちも生息している。当センターが所蔵している標本の中から阿蘇の淡水域に生息している多様な生き物たちを紹介した。

担 当 金子誉士、中蘭洋行



2 情報発信活動

(1) 熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

事業目的

インターネット上で資料データやイベント情報等を提供し、参加館等における資料管理、調査研究、情報発信、県民の博物館活動への参加等を支援する。平成27年10月より運用開始。

参加館等

26館、7市町村（令和3年3月31日現在）

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト

<https://kumamoto-museum.net/>



(2) 熊本どこでもミュージアム

事業目的

インターネット上で熊本の自然と文化の紹介、県内博物館等施設の紹介、実験・創作・観察方法などの紹介を視聴できるサイトを「熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト」内に作成し、コロナ禍において活動が制限される状況下でも、いつでも、どこでも博物館を身近に感じることができる機会を提供する。令和3年3月より運用開始。

事業内容

「バーチャルミュージアム」、「ミュージアムをのぞいてみよう」、「できた！みつけた！」の3つの項目で構成。それぞれに県内博物館等各館が記事を投稿することができる。

①バーチャルミュージアム

熊本県内ミュージアムが自然や文化の魅力について発信（登録記事 4件）

②ミュージアムをのぞいてみよう

熊本県のミュージアムについて発信（登録記事 1件）

③できた！みつけた！

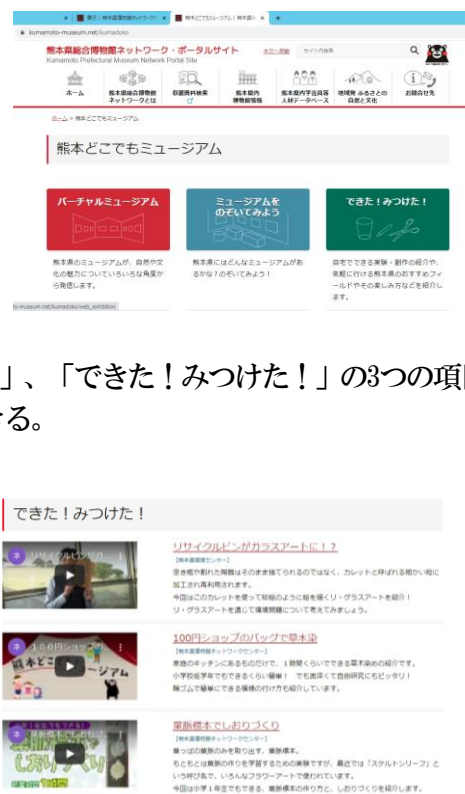
自宅でできる実験・創作の紹介や熊本県内のおすすめフィールドについて発信（登録記事 4件）

※登録記事数は、令和3年3月31日現在。

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイト内「熊本どこでもミュージアム」

<https://kumamoto-museum.net/kumadoko>



(3) 出版物

① 広報誌（熊本県博物館ネットワークセンターだより「熊本の自然と文化」）

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

(7) 46号

発行日 令和2年(2020年)8月7日(金)

掲載内容 [イベント情報] 企画展

[資料紹介] ミナミメダカ (動物)

褒賞状 (歴史)

ハマボウ (植物)

方解石 (地学)

カワマツリの供え物 (民俗)



(イ) 47号

発行日 令和2年(2020年)10月30日(金)

掲載内容 [イベント情報] 企画展

[資料紹介] 十五夜綱引きの綱 (民俗)

ヒゴキムラゲモ (動物)

類奇頭書目録 (歴史)

モロコシソウ (植物)

山甲川流紋岩類 (地学)



(ウ) 48号

発行日 令和3年(2021年)3月26日(金)

掲載内容 [イベント情報] 企画展、学習支援活動

[資料紹介] ハマナツメ (植物)

フウ(タイワンフウ)の化石 (地学)

天秤棒 (民俗)

ユビナガコウモリ (動物)

書簡 (歴史)



② 熊本県博物館情報誌「Museくまもと」

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

(7) vol.3

発行日 令和2年(2020年)10月12日(月)

掲載内容 [見どころ紹介] 熊本県立装飾古墳館分館歴史公園鞠智城・温故創生館、山江村歴史民俗資料館、熊本博物館
[コレクション紹介] 御船町恐竜博物館
[博物館のお仕事] 肥後の里山ギャラリー
[博物館紹介] 坂本善三美術館、天草キリシタン館
[展示・イベント案内] 21館



(イ) vol.4

発行日 令和3年(2021年)3月26日(金)

掲載内容 [見どころ紹介] 熊本県立美術館、湯前まんが美術館、山鹿市立博物館
[コレクション紹介] 合志市歴史資料館
[博物館のお仕事] 塚原歴史民俗資料館
[博物館紹介] 四賢婦人記念館、新聞博物館
[展示・イベント案内] 22館



③ 熊本県博物館ネットワークセンター紀要 第1号

※博物館ネットワークセンターホームページに掲載

発行日 令和3年(2021年)3月16日(火)

掲載内容 熊本県の自然、文化に対する研究の発表

- 田中均・高橋努・本多栄喜：熊本県秩父帯下部白亜系八代層の層序と二枚貝化石相
- 永松允積・廣田志乃：京町台地に見られる火砕流堆積物ー特色ある火砕流堆積物露頭と軽石に含まれる磁鉄鉱量の標高による変化ー
- 安田晶子・前田哲弥：熊本市加勢川河原におけるセイタカナミキソウの発見
- 安田晶子 他：タマバエがつくる虫こぶ「チシャノキツボミフクレフシ」の熊本県内からの発見
- 中藺洋行・前田哲弥：熊本県から初記録となるラン科植物2種
- 前田哲弥 他：博物館ボランティア活動を通して得られた雁回山の維管束植物標本目録
- 石坂妙・立石アサエ・辻明子：「雁回山の植物を見る会」活動10年を振り返って
- 安田晶子・前田哲弥・金重雅彦：令和2年7月豪雨による水損植物標本の救済活動
- 堤将太 他：「秋岡吉左衛門覚書 其ノ一」
- 原田信敬：三月荒神に関する報告と一考察 ー西浦荒神社の事例を中心にー
- 丸山伸治：スペイン風邪流行と熊本における状況について

3 研修活動

※令和2年度の以下の研修活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(1) 総合プロデューサー育成研修

目的

高い企画能力を持ち、効果的なプロモーション活動や広報活動が行える総合プロデューサー的な能力を有する学芸員等の育成。

(2) スキルアップ研修

目的

講座・実習をとおり資料保存、展示技術、展示評価等の技能向上、及び各博物館の取組の紹介や共同事業などに係る意見交換会をとおり、県内博物館の運営力向上を図る。

(3) 教員のための博物館の日 in 山鹿

目的

博物館等と学校との連携を図る必要があることから、教職員を対象とした研修会を通して、博物館活動に興味・関心や親近感を持ち、授業で活用できる学習資源として認識してもらう。

4 学習支援活動

(1) フィールドミュージアムへ飛びだそう！ 県内各地で行う家族向け自然観察会

① 月の観察と写真撮影をしよう

開催期日 令和2年(2020年)10月2日(金)
場 所 熊本市南区 熊本県民天文台
参加人数 26名
概 要 天体望遠鏡での月の観察や写真撮影を行う。
講 師 艶島敬昭氏、中島尚氏、高田祐一氏
(熊本県民天文台スタッフ)
担 当 上塚穰二、廣田志乃、金重雅彦



② 落ち葉図鑑を作ろう

開催期日 令和2年(2020年)11月21日(土)
場 所 和水町 肥後民家村
参加人数 10人
概 要 樹木等を観察し、観察終了後園内で集めた落ち葉を使った図鑑作りを行う。
担 当 金重雅彦、前田哲弥



③ 水辺の生き物を観察しよう

開催期日 令和2年(2020年)11月29日(日)
場 所 五木村 白滝公園
参加人数 6人
概 要 五木村白滝公園にて、水生昆虫など、水辺の生き物たちの観察。
担 当 金子誉士、中藺洋行



④ 森の貝を観察しよう

開催期日 令和2年(2020年)12月5日(土)
場 所 八代市 龍峯山自然公園
参加人数 11人
概 要 龍峯山に生息する陸貝の観察。
講 師 松本達也氏
担 当 金子誉士、中藺洋行



※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した活動

- ① 夏の星空を楽しもう
- ② 植物体感ウォーク
- ③ 白亜紀の化石を探そう
- ④ 水辺の冬鳥を観察しよう

(2) 熊本を知る講座 熊本の自然や文化について学ぶ一般向けの講座

① 貝類学講座

開催期日 令和2年(2020年)11月21日(土)
 令和3年(2021年)1月16日(土)
 令和3年(2021年)3月6日(土)
 令和3年(2021年)3月20日(土)

会場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 21人(計4回)

趣 旨 熊本県内に生息する貝類について、見分け方や生息環境などを学び、貝について興味・関心を持ってもらう。

内 容 11月21日「総論 貝類ってどんな生き物」
 1月16日「貝類の分類Ⅰ 腹足類(巻貝)」
 3月6日「貝類の分類Ⅱ 斧足類(二枚貝)・陸貝・淡水貝」
 3月20日「貝類学応用編・貝類の標本の作り方」

講 師 松本達也 氏

担 当 金子誉士、中藺洋行



② 植物観察講座

開催期日 令和2年(2020年)11月、12月 毎月第2土曜日

会場 熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 12人(計2回)

趣 旨 植物についての基本的な観察や記録の方法の講義や実習をとおして、調査に必要となる基礎的な知識や技術を習得し、身近な自然に興味や親しみをもつきっかけを提供する。

内 容 「植物の分類」「写真撮影法」「植物スケッチ」ほか

担 当 金重雅彦、前田哲弥

③ 地質学講座

開催期日 令和2年(2020年)11月～令和3年(2021年)3月 奇数月第2日曜日

会場 熊本県博物館ネットワークセンター、野外

受講人数 24人(計3回)

趣 旨 主に県南部の地層や地形を観察しながら、環境による堆積構造の違いや褶曲・断層などについて学ぶ。さらに、県南地域の土地の成り立ちを考える。

講 師 田中均 氏(元熊本大学教授)

担 当 上塚穰二、廣田志乃



④ 祭り・行事と農耕

開催期日 令和2年(2020年)10月～12月、令和3年(2021年)3月 毎月第2水曜日

会場 熊本県環境センター、水俣環境アカデミア

主 催 水俣市教育委員会、熊本県環境センター、熊本県博物館ネットワークセンター

受講人数 15人(計4回)

- 趣 旨 熊本県内で行われてきた季節ごとの祭りや行事と 1 年間の農耕のサイクルの関係について学ぶ。
- 内 容 第1回 10月14日 暦と農耕
第2回 11月11日 収穫と祭り・行事1
第3回 12月9日 収穫と祭り・行事2
第4回 3月10日 祭り・行事と農耕
- 担 当 原田信敬、國本信夫、迫田久美子



⑤ 古文書読み解き講座

- 開催期日 令和2年(2020年)10月~12月、令和3年(2021年)1月、3月 毎月第1土曜日
- 会 場 熊本県博物館ネットワークセンター
- 受講人数 27人(計5回)
- 趣 旨 当センターが所蔵する歴史資料(古文書)を教材として活用し、受講者が古文書に親しみながら基礎知識や基本的な読解力を身に付けることを目指す。
- 使用資料 「銀臺遺事」
- 担 当 中村圭子、古澤広大

(3) くまもとキッズミュージアム in 人吉

※令和2年7月豪雨被害及び新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

《実施計画》

- 概 要 楽しく遊びながら自然や伝統文化を体験する子ども向けプログラム
- 主 催 熊本県博物館ネットワークセンター、ミュージアムパートナーズクラブ
- 会 場 人吉市東西コミュニティーセンター
- 開催期日 令和3年(2021年)1月16日(土)、17日(日)

(4) 移動体験教室・講師派遣

① 移動体験教室

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施なし

② 講師派遣

- 11月17日 県立宇土中学校(宇土未来探究講座 80人)
- 2月25日 山都町立蘇陽小学校(社会科授業「昔の道具と昔の暮らし」 15人)

(5) 団体利用

11月25日 美里町立砥用小学校2年生(体験学習 23人)
12月10日 美里町立砥用小学校3年生(体験学習 11人)
12月12日 美里町立砥用小学校1年生(体験学習 22人)
2月19日 宇城市立豊野小学校3年生(体験学習 33人)
3月5日 宇城市立豊福小学校3年生(体験学習 76人)

(6) 博物館実習・職場体験

① 博物館実習

期 間 令和2年(2020年)9月10日(水)～18日(金) ※土日を除く

実 習 生 熊本大学 7人

崇城大学 1人

実習内容 資料整理および登録業務、解説シートの作成

9月10日 オリエンテーション、バックヤード見学

9月11日 資料整理・登録業務

9月14日 照明設営、資料整理・登録業務

9月15日 資料写真撮影、資料整理・登録業務

9月16日 解説シート作成

9月17日 解説シート作成

9月18日 解説シート作成、発表

② 職場体験

令和2年度の受け入れなし

(7) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズ制度

概 要 熊本県内の自然や文化に興味・関心を持ち、当センターと協働した「県民参加型の博物館活動」に主体的に携わる意志がある方を対象とした登録制度。

登録説明会 令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止。

登 録 者 数 82人(令和2年度末)

(8) 熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーズクラブ

活動概要

熊本県博物館ネットワークセンターミュージアムパートナーにより組織された活動団体として、各活動クラブに分かれて活動している。博物館ネットワークセンターとの協働により熊本県内の自然や文化の調査研究及び学習支援、情報発信等の活動を行っている。

活動クラブ

① 草木染めの会

会 員 数 7人

活 動 日 毎月第2土曜日

活動内容 熊本の植物を使つての草木染め実践



草木染めの会

② 雁回山の植物を観る会

会 員 数 21人

活 動 日 毎月第2木曜日

活動内容 雁回山の植物相調査
標本や写真を使った企画展示の開催

③ くまもとの大地の成り立ち

会 員 数 42人

活 動 日 偶数月第1日曜日

活動内容 地層や岩石の現地見学会の実施



くまもとの大地の成り立ち

④ 地学研究会

会 員 数 6人

活 動 日 毎週金曜日

活動内容 寄贈された標本やそれに関連する地学資料の整理

⑤ 貝類調べ隊

会 員 数 19人

活 動 日 毎月第3土曜日

活動内容 県内各地の陸・海・淡水の貝類を調査、観察を行う。
必要に応じて採集し、名前を同定し、博物館ネットワークセンターへ情報提供を行う。



貝類調べ隊

⑥ 松橋地域史調査クラブ

会 員 数 5人

活 動 日 毎月第1土曜日

活動内容 宇城市が所蔵している秋岡家文書（秋岡吉左衛門覚書 其ノ一）の調査（読解）



松橋地域史調査クラブ

⑦ シダを楽しもう会

会 員 数 15 人

活動日 毎月第3火曜日

活動内容 熊本県内のシダ植物の分布状況調査

⑧ 甲佐民具を学ぶ会

会 員 数 8 人

活動日 毎月第1月曜日

活動内容 甲佐町民俗資料館の民具資料のクリーニング及びメンテナンス

甲佐町民俗資料館の民具資料の台帳作成

甲佐町民俗資料館の展示の充実



甲佐民具を学ぶ会

※活動日については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動内容に応じて各クラブにおいて実施の有無を判断されました。

（９）学校移動展示用パッケージ運用

事業目的

博物館ネットワークセンターにある実物資料を活用し、学校の教育課程と重ね合わせて作成した移動展示用パッケージを、各教育事務所や学校に配置し、授業やイベント等の展示に活用する。

小中学校

熊本市以外の各教育事務所及び山鹿市教育委員会に配置し、各学校への運用を依頼。

小学校は2種類、中学校は4種類、計6種類作成。

高等学校

生物分野を9校、地学分野を2校に配置し、運用を依頼。

生物分野は、日本のバイオームを 5 校に、外来生物を 4 校に配置。

地学分野は、3種類を1セットとして配置。

学校移動展示用パッケージについて

本展覧では、県内どこにまでいっても博物館展示に手が届くことである「熊本県立博物館ネットワーク」の発展を図るために、熊本県博物館ネットワークを基盤として、全国各県や海外へ展示の巡回を実施していきます。

その一環として、熊本県博物館ネットワークセンターが所蔵する、動物・植物、地質をはじめ、文化・歴史などの展示を活用し、これら展示に加え、移動展示用展示を見ることで、児童・生徒の自然に対する興味・関心を高め、学習意欲を高めることをめざすことを目指します。学校移動展示用パッケージを作成しております。

各パッケージの展示品及び展示の授業での活用方法と活用をお願いします。

学校区分	学 校	パッケージ内容
小学部	生物科	① 動物図鑑（全2巻） スライム作り、折り紙、粘土作り、ドングリ、メダカ、サメなど ② ワニツメ（37ページ） クワガタ、スズメ、ウツギ、ウツギ、アマガサ、オオナギバエなど ③ やまぐし（全3巻） 砂時計、鉢、茶臼
	3年級	④ 動物ワークス（2巻） 熊本県立110の自然に分け、学校で観察する植物を中心とした観察表を記入するなどの観察活動 ⑤ パネル（3巻） 熊本県立にある植物園内探しの観察表を記入
中学部	理科の部	① 動物ワークス（全2巻）（5巻2冊） 熊本県立110の自然に分け、各地域に生息する動物をそれぞれ観察する ② 植物観察本（1巻） 自然観察の観察のつら、1種は必ず観察本を制作
	生物科	③ 自然の観察と地質観察の観察 地質図、折し紙、筒作り、粘土作り ④ 3D山模型 粘土、3D粘土、粘土、粘土 ⑤ 粘土山模型、観察表の3D山模型
高校部	生物科	⑥ 動物ワークス 工作、折り紙、スライム、アマガサなど ⑦ 動物図鑑 クワガタ、スズメ、アマガサ、ウツギなど ⑧ 植物観察本 自然観察の観察、植物観察本
	生物科	⑨ 植物観察本 観察表（観察と観察） 観察表、アマガサ、スライム、アマガサ、ウツギなど ⑩ パネル（2巻） 観察表

【学校移動展示用パッケージに関するお問い合わせ先】

熊本県博物館ネットワークセンター（7階）自然環境教育推進室
〒961-8644 熊本県 熊本市 下区 下区
TEL 0964-56-1002 E-mail: info@kumamoto-museum.jp 熊本県立博物館

【巡回に関するお問い合わせ先】

各県教育委員会
山形県 山形市 山形県立自然環境教育推進室

5 資料収集整理活動

(1) 熊本県博物館資料データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館等が所蔵する博物館資料に係るデータ管理を効率化するとともに、資料データを共有し、展示や調査研究のための利活用の促進を図る。

事業内容

収蔵資料管理システム、資料情報公開システム及びポータルサイトの運用

参加館等

21館、4市町村、資料登録件数は452,996件
(令和3年3月31日現在)

URL

熊本県総合博物館ネットワーク・ポータルサイトからアクセス

<https://kumamoto-museum.net/> (http://jmapps.ne.jp/kumamoto_museum/)



(2) 熊本県学芸員等人材データベース事業

事業目的

熊本県内の博物館・資料館等に所属する学芸員、県・市町村教育委員会の文化行政担当者や学校教職員等が有する専門的な知識や技術の調査を行い、その情報をもとにデータベースを作成し、博物館等における調査研究、展示及び講演会等の博物館活動の充実を図る。

事業内容

熊本県学芸員等人材データベースの作成及び関係機関への配付

熊本県学芸員等人材データベース（web版）の作成及び公開（平成27年10月）

登録者数

137人（令和3年3月31日現在）

URL

熊本県学芸員等人材データベース（web版）公開ページ

<https://kumamoto-museum.net/human>



(3) 資料収集・整理状況（令和2年度（2020年度））

①動物分野

資料収蔵点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数		計
		乾燥（剥製等）	液浸	
NB11（哺乳類）		248	126	374
NB12（鳥類）		1,008	1	1,009
NB13（両生・爬虫類）		69	329	398
NB14（魚類）		76	2,110	2,186
NB15（昆虫類）		11,327	414	11,741
NB16（多足類）		22	865	887
NB17（甲殻類）		41	943	984
NB18（軟体動物）		6,024	248	6,272
NB19（その他分類群）		19	34	53
合計	85,900	18,834	5,070	23,904

令和2年度の受入資料

ヒメネズミ	1点
冷凍鳥獣	27点
ヒナコウモリ	3点
フクロウ（暗化型）	1点
職員採集標本	180点

令和2年度の主な整理登録作業

乾燥昆虫標本作成及び登録
倉永善太郎昆虫標本の整理及び登録
立志徹郎貝類標本の整理及び登録

②植物分野

収蔵資料点数及び登録点数

分類群	資料点数（概数）	登録点数
NB2（植物）		216,649
NB3（菌類）		2,412
NB4（藻類）		891
合計	260,000	219,952

令和2年度受入資料

なし

令和2年度の主な整理登録作業

熊本大学標本、山城學標本、富田壽人標本、フェイス女学院標本、MPC 雁回山の植物を観る会標本、河浦高校標本、職員採集標本の登録・配架作業

③地質分野

資料収蔵点数及び登録点数

コレクション名	資料点数（概数）	登録点数
今西茂標本	2,000	1,759
長谷義隆標本	10,000	568
アトラス熊本標本	174	174
荒尾宏岩石標本	103	103
熊本大学理学部地学科進級論文標本	4,833	4,833
河野通幸化石標本	217	217
岩崎泰穎標本	6,500	2,262
津末昭生標本	4,300	0
熊本大学工学部標本	7,026	7,026
熊本大学理学部地学科卒業・修士論文標本	5,040	5,040
熊本大学理学部地学科標本	105	105
村田正文標本	1,100	6
遠藤誠道植物化石標本	600	2
斉藤林次標本	213	213
早田幸作標本	200	13
千藤忠昌標本	1,846	1846
植田和男標本	100	96
フェイス女学院 松本唯一標本	234	234
桂輝雄標本	216	216
田中均標本	8,000	4
多良木高校標本	370	370
永松允積火山灰標本	90	0
村上能治標本	200	0
ミュージアムパートナーズクラブ採取標本	320	241
その他（少数寄贈、職員製作など）	2,100	1,134
合計	55,887	26,462

令和2年度受入資料

ミュージアムパートナーズクラブくまもとの大地の成り立ち採取標本 20点

個人寄贈・職員採取標本 100点

令和2年度の主な整理登録作業

田中均標本の整理

今西茂標本の整理・登録

ミュージアムパートナーズクラブ・個人寄贈・職員採取標本の整理・登録

展示など使用標本の登録

④歴史分野

資料収蔵点数及び登録点数

コレクション名	資料点数	登録点数
熊本市辛島家資料	23,393	2,257
鏡町下山家資料	2,977	0
渡邊祥隆寄贈資料	1	1
不知火町直江家資料	43	43
嘉島町安藤家資料	769	769
牛深市浜田家資料	520	520
齊藤俊三収集資料	1,071	0
高森町久々宮家資料	34	34
高森町瀬井家資料	541	541
西崎俊秋寄贈資料	204	0
熊本市猿渡家資料	1,021	1,021
三角千代子寄贈資料	6	0
高村勇三収集資料	1,480	0
坂口雅流収集資料	1,656	0
吉倉眞収集資料	17	17
高森町安藤家資料	622	622
森下功旧蔵資料	1,142	1,142
福田巧旧蔵資料	18	18
甲斐英子寄贈資料	18	18
田口幸宗寄贈資料	150	0
岩永武男寄贈資料	511	511
松本達也寄贈資料	64	64
西山佳代寄贈資料	6	6
東アサオ旧蔵資料	8	8
手島清土寄贈資料	1	1
八代市竹田家資料	2,205	2,205
池部美恵子寄贈資料	5	5
森内千佐寄贈資料	1	1
高須恒男寄贈資料	6	6
熊本市米村家資料	400	0
村井眞輝寄贈資料	1	1
大野恵子寄贈資料	2	2
緒方満寄贈資料	39	39
太田喜一郎寄贈資料	2	2
廣吉秀澄寄贈資料	6	6
質地証文類	300	0
宇城市坂口家資料	6	6
熊本市本田家資料	36	36
岡本敬喜寄贈資料	2	2

岩成邦忠寄贈資料	1	1
美當一調関連資料	191	191
熊本県文化課収集生産具	5	5
松原ルミ子寄贈資料	3	3
米村靖雄関係資料	31	31
井手和洋寄贈資料	2	2
熊本私立測量学校関係資料	133	133
熊本市小夏家資料	494	0
東矢力也寄贈資料	73	73
熊本市河原家資料	3	3
宇城市岡村家資料	1	1
辻あきこ寄贈資料	62	62
宇城市小田家資料	514	363
江藤政光所蔵資料	16	16
本田力寄贈資料	1	1
上塚穰二寄贈資料	7	7
宇城市森田家資料	47	47
市丸かな子寄贈資料	17	0
宇城市小崎家資料	441	0
熊本市木下家資料	71	0
土原忠信寄贈資料	3	0
村上孝男寄贈資料	1	0
その他（購入等）	24	24
合計	41,425	10,867

令和2年度受入資料

上塚穰二寄贈資料 7点
 宇城市森田家資料 47点
 宇城市小田家資料 3点
 宇城市小崎家資料 441点
 熊本市木下家資料 71点
 土原忠信寄贈資料 3点
 村上孝男寄贈資料 1点

令和2年度の主な整理登録作業

熊本市米村家資料の整理
 牛深市浜田家資料、宇城市小田家資料、上塚穰二寄贈資料、宇城市森田家資料の整理・登録
 高森町瀬井家資料・高森町安藤家資料・江藤政光所蔵資料のマイクロフィルム化及びデジタル化

⑤民俗分野

資料収蔵点数及び登録点数

大分類	小分類	資料点数（概数）	登録点数
衣食住	衣	1,000	277
	食	1,200	650
	住	410	254
生産生業	自然物採集	23	17
	農業	690	681
	山樵	132	130
	採鉱・冶金	11	10
	漁撈・製塩	150	146
	狩猟	10	10
	養蚕・畜産	200	194
	繊維	90	86
	諸職・手工芸	420	389
交通交易	交通	210	152
	交易	120	76
社会	社会	50	24
信仰	神社	10	10
	寺院	50	42
	民間信仰	30	25
民俗知識	教育	150	64
	医療	50	19
	暦	10	6
	卜占	0	0
芸能娯楽	民俗芸能	0	0
	競技	0	0
	娯楽	500	86
儀礼	年中行事	57	54
	人生儀礼	50	40
小計		5,623	3,442
写真資料		154,400	77,745
合計		160,023	81,187

令和2年度受入資料

生活用品 約700点

令和2年度の主な整理登録作業

草野春美所蔵資料、大洞一成所蔵資料、小田家資料、白石巖写真資料の整理・登録

6 資料

(1) 令和2年度(2020年度)職員一覧

所長	金丸 政治	
参事	中原 秀隆	
参事	國本 信夫	(民俗)
参事	上塚 穰二	(地質)
参事	金重 雅彦	(植物)
参事	中村 圭子	(歴史)
参事	金子 誉士	(動物)
主事	原田 信敬	(民俗)
博物館活動囑託	迫田久美子	(民俗)
博物館活動囑託	前田 哲弥	(植物)
博物館活動囑託	廣田 志乃	(地質)
博物館活動囑託	中藺 洋行	(動物)
博物館活動囑託	古澤 広大	(歴史)
資料整理囑託	安田 晶子	(植物)
資料整理囑託	堤 将太	(歴史)

(2) 熊本県博物館ネットワークセンター条例

○熊本県博物館ネットワークセンター条例

(平成 27 年 3 月 20 日条例第 10 号)

熊本県博物館ネットワークセンター条例をここに公布する。

熊本県博物館ネットワークセンター条例

(設置)

第 1 条 県内の他の博物館等（博物館及び学校、図書館、研究所、公民館等の教育、学術又は文化に関する機関又は団体をいう。以下同じ。）との連携の下、本県の自然、歴史等に関する情報の収集等を行い、これによって得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること等により、県民の生涯学習の機会を増大させ、もって県民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、熊本県博物館ネットワークセンター（以下「ネットワークセンター」という。）を設置する。

(位置)

第 2 条 ネットワークセンターは、宇城市に置く。

(業務)

第 3 条 ネットワークセンターは、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 県内の他の博物館等との連携体制の構築に関すること。
- (2) 自然、歴史等に関する資料の収集を行うこと。
- (3) 前号に掲げる業務により収集した資料の整理保管及び調査研究を行うこと。
- (4) 前 2 号に掲げる業務により得られた資料、調査研究の成果等に関する情報を提供すること。
- (5) 多目的広場及び多目的広場管理棟会議室（以下「多目的広場等」という。）を提供すること。
- (6) 県内の他の博物館等の活動の支援に関すること。
- (7) 前各号に掲げるもののほか、第 1 条に規定する目的を達成するために必要な業務

(職員)

第 4 条 ネットワークセンターに、所長及び必要な職員を置く。

(休館日)

第 5 条 ネットワークセンターの休館日は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 月曜日（月曜日が国民の祝日に関する法律（昭和 23 年法律第 178 号）第 3 条の規定により休日とされる日（以下この号において「休日」という。）に当たるときは、その日以後の休日以外の最初の日）
 - (2) 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで（前号に該当する日を除く。）
- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の休館日を変更し、又は別に休館日を定めることができる。

(開館時間)

第 6 条 ネットワークセンターの開館時間は、午前 9 時から午後 5 時までとする。

- 2 前項の規定にかかわらず、知事が特に必要があると認めるときは、同項の開館時間を変更することができる。

(使用の許可)

第 7 条 多目的広場等を独占して使用しようとする者は、知事の許可を受けなければならない。

- 2 知事は、前項の許可をする場合において、管理上必要な条件を付することができる。

(使用の許可の基準)

第 8 条 知事は、前条第 1 項の許可を受けようとする者が次の各号のいずれかに該当するときは、同項の許可をしないことができる。

- (1) ネットワークセンターにおける公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれがあると認められるとき。

- (2) ネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失するおそれがあると認められるとき。
- (3) その使用が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団を利するおそれがあると認められるとき。
- (4) その他使用させることがネットワークセンターの管理上支障があると認められるとき。

（許可の取消し等）

第9条 知事は、第7条第1項の許可を受けた者（次条第1項において「使用者」という。）が次の各号のいずれかに該当するとき、又は管理上支障があると認めるときは、第7条第1項の許可を取り消し、若しくは変更し、又は多目的広場等の使用を停止させることができる。

- (1) この条例又はこの条例に基づく規則に違反したとき。
- (2) 第7条第2項の規定により付された許可の条件に違反したとき。
- (3) 偽りその他不正の手段により許可を受けたとき。
- (4) 前条第3号に該当することとなったとき。

（使用料）

第10条 使用者は、別表に定める額を使用料として納めなければならない。

- 2 前項の使用料（以下「使用料」という。）は、前納とする。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、この限りでない。
- 3 既納の使用料は、還付しない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

（使用料の減免）

第11条 知事は、特別の事情があると認めるときは、使用料の全部又は一部を免除することができる。（指定管理者による管理）

第12条 ネットワークセンター（多目的広場等に限る。以下この条から第15条までにおいて同じ。）の管理は、地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定により法人その他の団体であつて知事が指定するもの（以下「指定管理者」という。）に行わせることができる。

- 2 前項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合は、第5条及び第6条の規定にかかわらず、当該指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ知事の承認を得て、ネットワークセンターの休館日を変更し、若しくは別に定め、又は開館時間を変更することができる。
- 3 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合における第7条から9条までの規定の適用については、これらの規定中「知事」とあるのは、「指定管理者」とする。
- 4 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前にされた第7条第1項（前項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可の申請は、当該指定管理者にされた許可の申請とみなす。
- 5 第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合において、当該指定管理者がネットワークセンターの管理を行うこととされた期間前に第7条第1項（第3項の規定により読み替えて適用する場合を含む。）の許可を受けている者は、当該指定管理者の許可を受けた者とみなす。

第13条 指定管理者は、次に掲げる業務を行うものとする。

- (1) 第3条第5号に掲げる業務
- (2) 第7条第1項の許可に関する業務
- (3) ネットワークセンターの維持管理及び修繕に関する業務
- (4) 前3号に掲げるもののほか、指定管理者がネットワークセンターの管理上必要と認める業務

(利用料金)

第14条 第10条第1項の規定にかかわらず、第12条第1項の規定によりネットワークセンターの管理を指定管理者に行わせる場合には、前条各号に掲げる業務のほか、当該指定管理者にネットワークセンターの利用に係る料金（以下「利用料金」という。）を収受させることができる。

- 2 利用料金の額は、別表に定める額に1.3を乗じて得た額を上限として、指定管理者が知事の承認を得て定める額とする。
- 3 指定管理者は、あらかじめ知事の承認を得て定めた基準により、利用料金の減免又は還付をすることができる。

(原状回復義務)

第15条 指定管理者は、その指定の期間が満了したとき、又は地方自治法第244条の2第11項の規定によりその指定を取り消され、若しくは期間を定めてネットワークセンターの管理の業務の全部若しくは一部の停止を命ぜられたときは、その管理しなくなったネットワークセンターの施設及び設備を速やかに原状に回復しなければならない。ただし、知事の承認を得たときは、この限りでない。

(損害賠償)

第16条 故意又は過失によりネットワークセンターの施設又は設備を毀損し、又は滅失した者は、これによって生じた損害を賠償しなければならない。ただし、知事が特別の事情があると認めるときは、損害賠償義務の全部又は一部を免除することができる。

(雑則)

第17条 この条例に定めるもののほか、この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

(罰則)

第18条 詐欺その他不正の行為により使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額（当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。）以下の過料に処する。

附 則

この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、第3条第5号、第7条から第15条まで、第18条及び別表の規定は、平成27年10月1日から施行する。

別表(第10条、第14条関係)

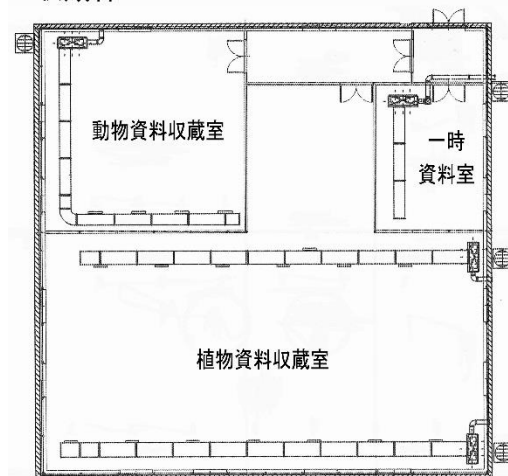
区分		単位	金額
多目的広場	東面	1時間につき	700円
	西面	1時間につき	800円
多目的広場管理棟会議室		1時間につき	100円

備考 使用する時間に1時間未満の端数があるときは、その端数を1時間とみなす。

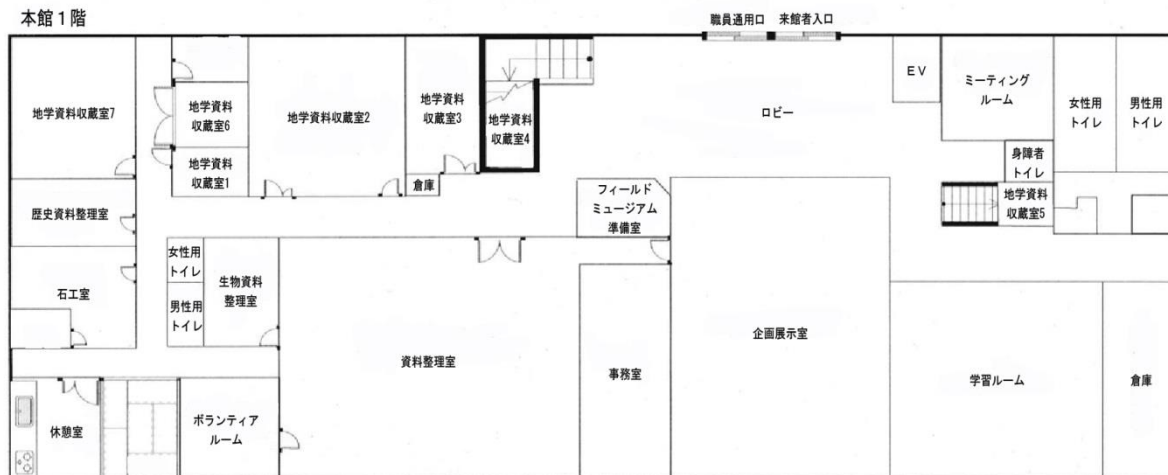
(3) 施設平面図

敷地概要	所在地	宇城市松橋町豊福 1695
	面積	61,917.40 m ²
建物概要	本館	構造 RC造2階建
	建築面積	1643.30 m ²
	延床面積	2889.27 m ²
	収蔵棟	構造 RC造平屋建
	建築面積	493.63 m ²
	延床面積	480.26 m ²

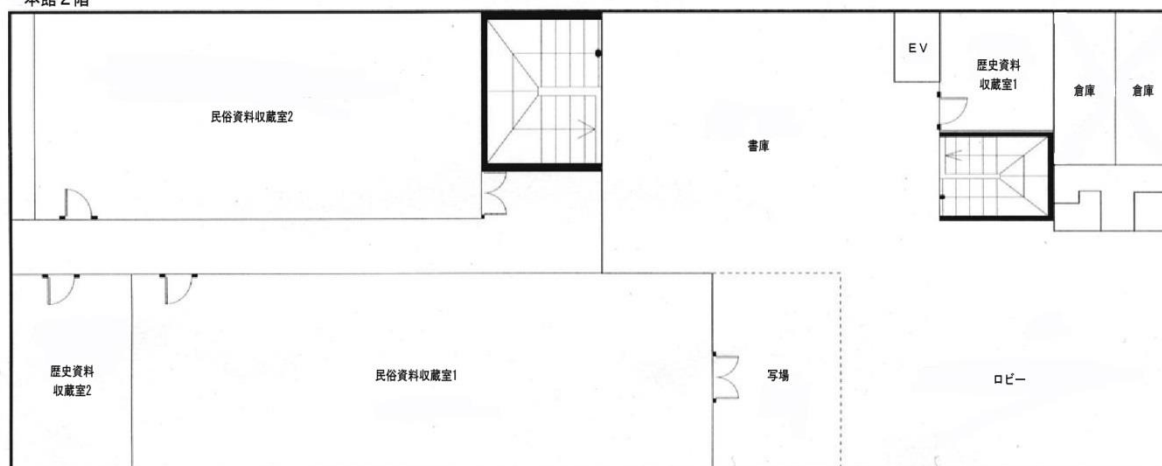
収蔵棟



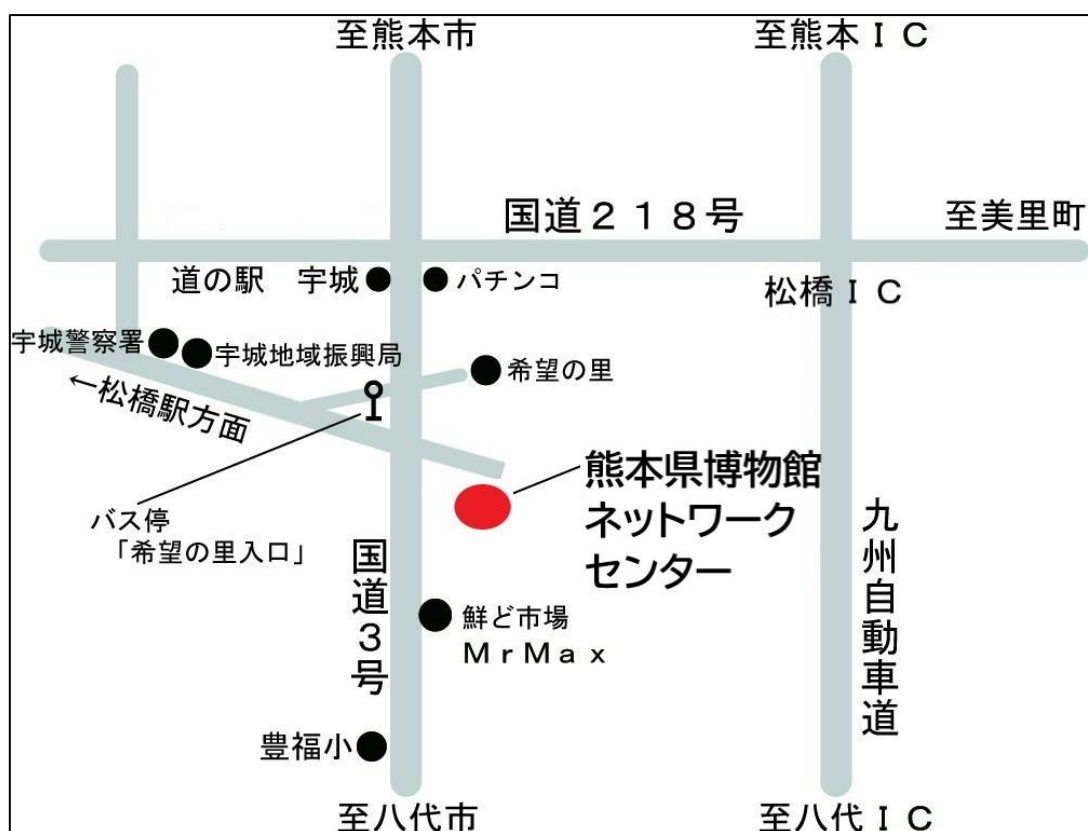
本館 1 階



本館 2 階



(4) 熊本県博物館ネットワークセンターへのアクセス



開館時間 午前9時～午後5時

休館日 月曜日（祝日の場合は翌日）、年末年始（12月29日～1月3日）

交通案内 九州産交バス「希望の里入口」下車 徒歩3分

JR松橋駅より約3km

URL <https://kumamoto-museum.net/kmnc/>

E-mail hakubutsuse@pref.kumamoto.lg.jp

令和2年度（2020年度）熊本県博物館ネットワークセンター活動報告書

編集・発行 熊本県博物館ネットワークセンター

〒869-0524 熊本県宇城市松橋町豊福 1695

電話 0964-34-3301

発行日 令和3年（2021年）5月6日

発 行 者 熊 本 県

所 属 熊 本 県 博 物 館 ネットワークセンター

発行年度 令和3年度（2021年度）